



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月11日 東

上場会社名 株式会社メディアフラッグ 上場取引所
 コード番号 6067 URL <http://www.mediaflag.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福井 康夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 中園 利宏 (TEL) 03 (5464) 8321
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績 (平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	3,034	111.6	68	△8.5	55	△26.5	6	△81.3
25年12月期第2四半期	1,434	—	74	—	74	—	34	—

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 3百万円(△90.7%) 25年12月期第2四半期 33百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	1.50	1.41
25年12月期第2四半期	8.09	7.65

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第2四半期	4,481	870	19.2
25年12月期	4,173	886	21.0

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 862百万円 25年12月期 875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成26年12月期の配当予想額については、未定です。

3. 平成26年12月期の連結業績予想 (平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,600	92.1	250	1.1	220	△10.7	110	△18.4	24.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 、 除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年12月期2Q	4,246,500株	25年12月期	4,228,500株
26年12月期2Q	34株	25年12月期	34株
26年12月期2Q	4,233,549株	25年12月期2Q	4,224,448株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	
(2) 財政状態に関する説明	
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	
(セグメント情報等)	

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要及びその反動の影響を受けながらも個人消費の持ち直し、企業収益の改善が見られるなど、緩やかな回復基調が続きました。一方でアメリカの金融緩和縮小による影響等、海外経済の動向によって先行き不透明な状況となっております。

このような経済状況の中、当社グループの主な事業領域である消費財メーカー等への営業支援事業及び流通小売業等への覆面調査を提供する流通支援事業では、引き続き販売促進のための店舗店頭の改善と強化が重視される傾向が強く見られ、また、効率化や省力化のためのアウトソーシングのニーズも高まりました。

このような事業環境に対応して、既存顧客からの受注拡大と新規顧客獲得のための提案活動に注力し営業支援事業及び流通支援事業ともに顧客基盤の拡大と収益の拡大を実現し、両事業の中核である当社単体の業績は売上面、利益面ともに好調な伸びとなりました。一方で、当社グループ会社の内、フットサルコート運営及び鍼灸院を事業とするK9(株)が事業立ち上げ当初ということもありまだ採算が追いついていない状況であること、並びに和菓子製造・販売を事業とする(株)十勝たちばなについて事業再生の途上であることから、当第2四半期連結累計期間における連結利益については低調な結果となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、3,034,921千円（前年同期比111.6%増）、営業利益は68,210千円（前年同期比8.5%減）、経常利益は55,019千円（前年同期比26.5%減）、四半期純利益は6,371千円（前年同期比81.3%減）となりました。

なお、当社グループの主な企業の当第2四半期連結累計期間における各社単体業績は次の通りであります。

(単位：千円)

会社名	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
(株)メディアフラッグ	1,733,110	109,130	104,037	58,910
(株)十勝たちばな	975,842	2,023	△6,103	△8,846
キャビック(株)	312,292	△166	△496	△847
(株)メディアフラッグ沖縄	86,263	△314	3,306	2,961
K9(株)	14,093	△20,785	△20,899	△21,003
梅地垂福(上海)管理咨询有限公司	4,876	△4,405	△3,833	△3,833
その他2社	16,388	△2,224	△1,953	△2,078

(注) 株式会社十勝たちばなは平成26年6月1日付で旧株式会社十勝と旧株式会社たちばなが合併した企業であります。株式会社十勝たちばなの上記業績数値は当第2四半期連結累計期間における旧株式会社十勝の業績と旧株式会社たちばなの業績の合算から連結会社間取引を除いております。

また、セグメント別の業績は次の通りであります。

営業支援事業におきましては、リアルショップサポートの新規案件の受注や各メーカーが実施するキャンペーンや新商品の発売に合わせた推奨販売サービスの新規受注の拡大により、売上高は1,345,262千円（前年同期比86.2%増）、セグメント利益は204,488千円（同32.5%増）となりました。

流通支援事業におきましては、地方銀行等の金融機関や高速道路のサービスエリアでの店舗調査、インドネシアに続きインドでもコンビニエンスストアの店舗改善のコンサルティング案件を受注いたしました。この結果、売上高は316,497千円（前年同期比0.4%増）、セグメント利益は192,918千円（同53.3%増）となりました。

ASP事業におきましては、既存顧客からのカスタマイズの受注に加え、新規顧客の獲得を実現しました。この結果、売上高は29,494千円（前年同期比9.5%増）、セグメント利益は24,914千円（同141.4%増）となりました。

ストア事業におきましては、消費税増税前の駆け込み需要により一時的な売上増加に繋がりましたが、昨年より営業開始していた沖縄料理店「古都首里」の閉店や増税後の買い控えの影響により売上高は375,057千円（前年同期比1.4%増）、セグメント利益は1,590千円（同60.7%減）となりました。

和菓子製造販売事業におきましては、年末年始から端午の節句にかけての贈答需要や積極的な催事展開により売上は好調に推移しつつある一方で、沖縄での新規ブランド立ち上げに伴う出店費用の影響があり、売上高は972,066千円、セグメント利益は△16,729千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ307,706千円増加し、4,481,223千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比べ181,459千円増加し、1,678,905千円となりました。これは現金及び預金の増加111,017千円、商品及び製品の増加34,873千円等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ126,247千円増加し、2,802,317千円となりました。これは主に投資その他の資産の増加157,401千円等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ323,745千円増加し、3,611,191千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比べ461,249千円増加し、1,493,222千円となりました。これは短期借入金の増加480,000千円等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ137,503千円減少し、2,117,969千円となりました。これは長期借入金の減少133,458千円等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ16,039千円減少し、870,032千円となりました。これは主に利益剰余金の減少14,771千円等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、877,175千円となりました。なお、当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動の結果減少した資金は、3,325千円であります。これは主に税金等調整前四半期純利益55,239千円、減価償却費58,808千円、たな卸資産の増加額55,964千円、法人税等の支払額72,882千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動の結果減少した資金は、203,455千円であります。これは主に関係会社株式の取得による支出169,660千円、有形固定資産の取得による支出21,394千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動の結果増加した資金は、320,540千円であります。これは主に短期借入金の増加額480,000千円、長期借入金の返済による支出159,802千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期の通期の連結業績予想につきましては、平成26年7月1日より完全子会社となりました株式会社シアーズの業績計画を考慮すると売上高が当初の業績予想数値を上回る見込ではありますが、利益については第2四半期累計期間で予想数値を下回ったことから、通期でも当初業績予想を下回る見込みであります。詳細につきましては、本日公表いたしました「第2四半期累計業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	776,165	887,182
受取手形及び売掛金	542,441	551,073
商品及び製品	67,177	102,051
仕掛品	13,971	30,634
原材料及び貯蔵品	54,511	58,940
その他	49,500	55,201
貸倒引当金	△6,321	△6,177
流動資産合計	1,497,446	1,678,905
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,343,095	2,348,102
機械装置及び運搬具	679,891	679,891
土地	1,628,925	1,628,925
その他	287,499	297,956
減価償却累計額	△2,759,548	△2,794,220
有形固定資産合計	2,179,862	2,160,655
無形固定資産		
のれん	202,393	186,337
その他	71,889	75,997
無形固定資産合計	274,282	262,334
投資その他の資産	221,925	379,326
固定資産合計	2,676,070	2,802,317
資産合計	4,173,516	4,481,223
負債の部		
流動負債		
買掛金	103,195	82,316
短期借入金	170,000	650,000
1年内返済予定の長期借入金	317,876	311,532
未払法人税等	76,029	49,943
ポイント引当金	1,430	3,961
資産除去債務	-	494
その他	363,441	394,974
流動負債合計	1,031,972	1,493,222
固定負債		
長期借入金	2,187,331	2,053,873
資産除去債務	33,511	34,022
その他	34,630	30,073
固定負債合計	2,255,472	2,117,969
負債合計	3,287,445	3,611,191

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	284,266	286,623
資本剰余金	274,266	276,623
利益剰余金	311,856	297,085
自己株式	△16	△16
株主資本合計	870,372	860,316
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	430	421
為替換算調整勘定	4,363	1,431
その他の包括利益累計額合計	4,793	1,852
少数株主持分	10,905	7,862
純資産合計	886,071	870,032
負債純資産合計	4,173,516	4,481,223

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	1,434,537	3,034,921
売上原価	916,923	1,811,575
売上総利益	517,613	1,223,346
販売費及び一般管理費	443,066	1,155,135
営業利益	74,546	68,210
営業外収益		
受取利息	419	500
受取配当金	-	9
助成金収入	-	3,650
その他	633	2,821
営業外収益合計	1,053	6,982
営業外費用		
支払利息	99	18,736
その他	608	1,437
営業外費用合計	708	20,173
経常利益	74,892	55,019
特別利益		
固定資産売却益	-	1,362
特別利益合計	-	1,362
特別損失		
固定資産除却損	1,093	1,142
特別損失合計	1,093	1,142
税金等調整前四半期純利益	73,798	55,239
法人税、住民税及び事業税	38,309	46,654
法人税等調整額	1,332	2,481
法人税等合計	39,641	49,135
少数株主損益調整前四半期純利益	34,156	6,103
少数株主損失(△)	-	△268
四半期純利益	34,156	6,371

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	34,156	6,103
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△109	△8
為替換算調整勘定	△210	△2,932
その他の包括利益合計	△319	△2,941
四半期包括利益	33,836	3,162
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	33,836	3,430
少数株主に係る四半期包括利益	-	△268

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	73,798	55,239
減価償却費	12,326	58,808
のれん償却額	-	20,781
貸倒引当金の増減額(△は減少)	490	△144
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△102	2,530
固定資産除却損	1,093	1,142
固定資産売却益	-	△1,362
受取利息及び受取配当金	△419	△510
支払利息	99	18,736
売上債権の増減額(△は増加)	△54,880	△8,658
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,508	△55,964
仕入債務の増減額(△は減少)	7,780	△21,841
未払金の増減額(△は減少)	9,428	9,488
未払費用の増減額(△は減少)	6,015	△4,500
未払消費税等の増減額(△は減少)	△18,873	13,792
その他	1,945	△964
小計	36,192	86,573
利息及び配当金の受取額	421	740
利息の支払額	△99	△17,757
法人税等の支払額	△49,441	△72,882
営業活動によるキャッシュ・フロー	△12,926	△3,325
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	△10,007
定期預金の払戻による収入	-	10,005
有形固定資産の取得による支出	△2,627	△21,394
有形固定資産の売却による収入	-	2,080
無形固定資産の取得による支出	△2,940	△16,762
資産除去債務の履行による支出	△1,345	△2,514
投資有価証券の取得による支出	△10,499	△10,250
関係会社株式の取得による支出	-	△169,660
保証金の回収による収入	3,727	14,570
保証金の差入による支出	△6,735	△4,707
長期貸付金の回収による収入	-	6,113
短期貸付金の増減額(△は増加)	68	△115
その他	△637	△812
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,988	△203,455
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	480,000
長期借入れによる収入	-	20,000
長期借入金の返済による支出	-	△159,802
株式の発行による収入	439	4,714
リース債務の返済による支出	△325	△4,044
配当金の支払額	-	△20,327
財務活動によるキャッシュ・フロー	114	320,540
現金及び現金同等物に係る換算差額	△107	△2,744
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△33,907	111,015
現金及び現金同等物の期首残高	529,137	766,159
現金及び現金同等物の四半期末残高	495,229	877,175

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	営業支援 事業	流通支援 事業	ASP事業	ストア 事業	和菓子 製造販売 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	722,580	315,202	26,939	369,814	—	1,434,537	—	1,434,537
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	722,580	315,202	26,939	369,814	—	1,434,537	—	1,434,537
セグメント利益	154,392	125,813	10,322	4,045	—	294,574	△220,027	74,546

(注) 1. セグメント利益の調整額△220,027千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	営業支援 事業	流通支援 事業	ASP事業	ストア 事業	和菓子 製造販売 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	1,342,552	315,750	29,494	375,057	972,066	3,034,921	—	3,034,921
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,710	747	—	—	—	3,457	△3,457	—
計	1,345,262	316,497	29,494	375,057	972,066	3,038,378	△3,457	3,034,921
セグメント利益	204,488	192,918	24,914	1,590	△16,729	407,182	△338,971	68,210

(注) 1. セグメント利益の調整額△338,971千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。